

天童市立学校の教育職員に関する業務量管理・ 健康確保措置実施計画

令和8年4月

天童市教育委員会

目 次

	ページ
1 計画の趣旨・現状	3
2 目標	4
3 計画の期間	4
4 実施する業務量管理・健康確保措置の内容	4
5 関連する取組、今後のフォローアップについて	6

1 計画の趣旨、現状

(1)計画の趣旨

第3次天童市教育振興基本計画（令和7年3月策定）は、国や県の計画を踏まえ、かつ、「天童市総合計画」や「天童市の教育等の振興に関する大綱」との整合性を図りながら、予測困難な時代に夢を持ち、生き抜くための力の育成、地域社会を支える人材の育成と新しい学びの環境整備、生涯にわたって学び続け次世代へつなげる魅力ある地域社会の継承ができるよう、本市の教育振興の基本目標を次のように設定している。

- ・夢を持ち生きる力と社会の発展を支える人材を育てる
- ・未来をつなぐ教育DXと学校の安全・安心を推進する
- ・生涯にわたる学びを支援する

この基本目標の実現のために、本市立学校に勤務する全ての教育職員がこれまで以上に生き生きと働くことができる環境を整備することが求められる。本計画は、その一助をなすものである。

(2)本市の現状

- ・本市では、令和6年9月に、所管に属する学校の教育職員の在校等時間の上限に関する方針として、「天童市立学校の教育職員の業務量の適切な管理等に関する規則」を定め、教育職員の在校等時間の管理及びその時間の縮減に取り組んできた。
- ・こうした取組の結果、本市における令和7、6年度の教育職員時間外在校等時間は以下のとおりであった。

【令和7年度の時間外在校等時間の状況】

	年平均	月45時間を 上回る割合（平均）	月80時間を 上回る割合（平均）
小学校	28時間35分	12.2%	0.0%
中学校	39時間15分	38.6%	0.8%

【令和6年度の時間外在校等時間の状況】

	年平均	月45時間を 上回る割合（平均）	月80時間を 上回る割合（平均）
小学校	28時間15分	10.2%	0.4%
中学校	42時間54分	51.7%	0.8%

- ・小学校においては、在校等時間の平均が順調に減ってきたが、令和7、6年度は、平均時間が下げ止まりの状況である。
- ・中学校においては、時間外在校等時間が45時間を超える割合が令和7年度は38.6%となっており、令和6年度より減ってきている。今後、地域クラブによる休日の活動が図られれば、教職員の時間的余裕が創出され、業務の質的向上が見込まれる。

- ・ こうしたことを踏まえ、公立の義務教育諸学校等の教育職員の給与等に関する特別措置法第8条に基づき本計画を策定するものである。

2 目標

本計画において達成を目指す目標を以下のとおりとする。

(1)時間外在校等時間に関する目標(「働きやすさ」目標)

- ・ 1カ月における時間外在校等時間45時間以下の割合を100%にする。
- ・ 1年間にける月平均時間外在校等時間を30時間以下にする。

(2)「働きがい」に関する目標

- ・ 学校評価アンケート(教職員向け)に、「児童生徒の成長に貢献する喜び」、「教員の専門性の向上や発揮への喜び」などの項目を設ける。
- ・ 上記アンケートの教職員達成率を80%以上にする。

(3)ワーク・ライフ・バランスや働きがい等に関する目標

- ・ 業務に支障がないように配慮しながら、年間の年次有給休暇の平均取得日数を年間12日以上にする。
【R6の実績：小学校12.6日、中学校10.8日】
- ・ 教育職員が、児童生徒や保護者との信頼関係の構築や専門性の発揮などにより、生き生きと教育活動に取り組み、働きがいを実感できることを目指す。

3 計画の期間

山形県公立学校における働き方改革(第Ⅲ期プラン)を鑑み、計画の期間を令和8年度から令和11年度とする。

4 実施する業務量管理・健康確保措置の内容

本市では、本計画期間中の重点事項として、以下の内容に取り組む。

(1)「業務の3分類」を踏まえた業務の見直しを図る

① 学校以外が担うべき業務

(ア) 登下校時の通学路における日常的な見守り活動等

(「3分類」Ⅰ関係))

- ・ 各地域の実情を踏まえつつ、児童生徒が学校に登校する時間の見直しを検討する。保護者・地域住民による通学路の見守り活動を推進する。

(イ) 児童生徒が補導されたときの対応(「3分類」Ⅱ関係)

- ・ 補導された児童生徒の引取りについては、保護者が第一義的な責任を負うことについて認識を共有する。そのための保護者の意識の醸成に努める。
- (ウ) 学校徴収金の徴収・管理（公会計化等）（「3分類」③関係）
 - ・ 学校徴収金について、歳入歳出予算に組み入れる対象範囲の精査を進め公会計化を検討する。
- (エ) 保護者等からの過剰な苦情や不当な要求等の学校では対応が困難な事案への対応（「3分類」⑤関係）
 - ・ 苦情内容によっては、学校が弁護士等の専門家を活用できる環境の整備を目指すとともに、教育委員会等の行政機関の責任において当該苦情等に対応できる体制を構築するよう努める。
- ② 教師以外が積極的に参画すべき業務
 - (ア) 調査・統計等への回答（「3分類」⑥関係）
 - ・ 教育委員会が内容の精査を行うことで、学校へ発出される調査の回答に係る事務負担を軽減する。
 - ・ 学校事務体制の強化のため、事務連携・共同を実施する。
 - (イ) 学校プールの施設・設備の管理（「3分類」⑨関係）
 - ・ 水泳指導の外部委託をさらに進めるよう努める。
 - (ウ) 部活動（「3分類」⑬関係）
 - ・ 令和8年度の1、2年生による新体制に移行した部から、原則、休日の部活動は行わず地域展開を図る。平日の部活動については、活動時間等の適正化を図り、指導者人材の確保については、他団体とのさらなる連携を進める。
- ③ 教師の業務だが、負担軽減を促進すべき業務
 - (ア) 授業準備、学習評価や成績処理（「3分類」⑮⑯関係）
 - ・ 授業準備や採点作業等を補助する教員業務支援員を全校に配置する。
 - ・ 校務支援システム等を活用することによって、授業準備、採点作業や成績処理等に係る事務負担を軽減する。
 - (イ) 支援が必要な児童生徒・家庭への対応（「3分類」⑰関係）
 - ・ スクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカー等の専門的な知見を活用しつつ、教育職員が連携・協働した支援体制を構築する。
 - ・ 学校が組織として関係機関と連携・協働し、適切な役割分担のもと支援を行うことのできる体制を構築する。
 - ・ 医療的ケア看護職員、特別支援教育支援員、医療・福祉に関する専門的な人材の学校への派遣を検討する。
- (2) 学校における措置の推進

学校における以下の措置を推進することで、教育職員が担う業務の適正化を図る。

 - ・ 各学校の教育課程における年間総授業時数や週当たり授業時数については、年度当初の計画段階で真に必要な時数となるよう設定

する。特に、標準授業時数を大幅に上回って編成されている場合には、指導体制に見合うものとなるよう見直す。

- ・ 当初のねらいが形骸化し十分な効果が見込めない活動等の見直し、清掃時間・頻度の見直し、放課後の部活動の勤務時間内での設定など、日課表の工夫を行う。
- ・ デジタル技術の活用により、「GIGA スクール構想の下での校務 DX チェックリスト」に基づいた自己点検を推進する。
- ・ 勤務時間外の留守番電話対応をすすめる。勤務時間外の電話対応は、留守番電話機能の活用を図る。
- ・ 業務向上に資する自動音声案内付き通話録音機能電話を学校に設置し活用を図る。

(3)教育職員の健康及び福祉の確保に関する取組

教育職員の健康及び福祉を確保するため、労働安全衛生法等の規定を遵守するとともに、以下の内容に取り組む。

- ・ 1 カ月の時間外在校等時間が80時間を超えた教育職員に、本人の申し出により医師による面接指導を実施する。
- ・ 睡眠、食事などを考慮した健康維持に適切な時間（11時間）を目安とする勤務間インターバルの確保に取り組む。
- ・ ストレスチェックの実施率を100%にし、実施後の集団分析の結果等も活用して職場環境の改善を推進する。
- ・ 関係機関の協力を得ながら、心身の健康問題について相談できる体制づくりに努める。
- ・ 年次有給休暇についてまとまった日数を連続して取得できるよう、各学校に働きかける。
- ・ 学校における定時退校日を週1回以上設定するよう推進し、長期休業期間中に5日間以上の一斉学校閉校期間の設定を行う。

5 関連する取組、今後のフォローアップについて

- ・ 取組の着実な実行を図るため、各学校の教育職員の在校等時間の状況を把握し、定例の教育委員会及び総合教育会議において報告する。
- ・ 時間外在校等時間にかかる目標の達成状況については、毎月各校から報告をもらい、毎月その状況を把握する。
- ・ 各学校における働き方改革の取組が進むよう、様々な機会を捉え各学校へ本計画の周知を行うとともに、管理職向けにマネジメント等に関する研修を充実させるなど、教育委員会からの支援を強化する。各学校においては、校長をはじめとした管理職のリーダーシップのもと、本計画に基づき、教育職員の働き方改革に向けた取組を実施する。
- ・ 保護者、地域の理解を促進するため、市長部局と連携し、保護者や地域の各自治会等に対して、「業務の3分類」をはじめとする業務量管理・健康確保措置の内容について周知を行うとともに協力を得られるよう取り組む。